

## 平成25年度 J A都市農村交流基礎研修会Ⅱ 開催案内 ～情報発信手法基礎研修会開催要領～（改定）

平成25年8月  
全国農業協同組合中央会  
J A都市農村交流全国協議会

### 1. 開催主旨

都市と農村における交流活動で中間的な役割を担うJ A担当者が必要とされる基礎知識の習得を目的として開催する。J A・農業ファンとなる都市住民をはじめとした活動への参加者を募るための情報発信の手法やJ A事例およびインターネットを活用した新たな仕組みを習得する実践的な内容です。

### 2. 主催

全国農業協同組合中央会  
J A都市農村交流全国協議会

### 3. 受講対象者

主に都市農村交流対応部署の担当者  
※広報、企画部署の担当者も歓迎

### 4. 研修会期間 平成25年9月20日（金）

### 5. 研修申込み締切り 平成25年9月11日（水）

### 6. 申込方法

J A都市農村交流全国協議会はこの研修の事務局の一部を（一社）全国農協観光協会に委託して、開催いたします。

別紙申込書を、一般社団法人全国農協観光協会地域振興推進部へファックスにて提出。

一般社団法人 全国農協観光協会 地域振興推進部

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8

電話 03-5297-0323 FAX 03-5297-0260

※事務窓口：地域振興推進部 清水又は太田まで

### 7. 研修場所

「Nツアービル 8階会議室」

東京都千代田区外神田1-16-8 \*JR秋葉原駅電気街口改札より徒歩1分

### 8. 定員 50名

## 9. 事前提出書類・当日持参資料

### (1) 事前提出書類

◆ J A機関紙(都市農村交流活動が掲載されているもの/写し可)

◆ 新聞記事( )

※現物の郵送またはPDFデータをJ A全中事務局あてに事前送付ください。

当日、研修参加者にて共有させていただきます。【送付期限：9月13日(金)】

### (2) 当日持参資料

◆ 筆記用具

## 10. 研修内容 別表日程表のとおり

## 11. 研修宿泊 \*参加者各自手配

(1) 会場周辺の主な宿泊先は以下のとおりです。参加者ご自身で確保ください。

(2) 農協観光およびJ A旅行センターにて交通および宿泊の手配を承ります。

### 【参考/会場最寄り宿泊施設】

宿泊先	住所	電話
秋葉原ワシントンホテル	千代田区神田佐久間町1-8-3	03-3255-3311
ヴィアイン秋葉原	東京都千代田区神田須田町2-19-4	03-5577-5489
ドーマーイン秋葉原	東京都千代田区外神田4-12-5.	03-5295-0012
東横 INN 神田秋葉原	東京都中央区日本橋馬喰町2-2-4	03-3669-1045
お茶ノ水ホテルジュラク	東京都千代田区神田淡路町2-9	03-3251-7222

## 12. 研修費用(消費税込)

### (1) Aコース(基礎研修会+懇談会)

◆ J A都市農村交流全国協議会会員 お一人様 6,000円

◆ J A都市農村交流全国協議会会員外 お一人様 9,500円

### (2) Bコース(基礎研修会)

◆ J A都市農村交流全国協議会会員 お一人様 4,000円

◆ J A都市農村交流全国協議会会員外 お一人様 7,500円

※講習会当日、受付と同時に(一社)全国農協観光協会から請求書を発行します。

※講習会実施1ヶ月後までに、次の口座へ振り込み送金をお願いします。

◆ 金融機関名：農林中央金庫本店

◆ 口座番号：(普通)4003410

◆ 口座名：(社)全国農協観光協会

(シャ)ゼンコクノウキョウカンコウキョウカイ

※講習会前日・当日の欠席の場合、経費は全額徴収することとし、後日請求書を発行します。

※研修費用の内訳は、受講料、テキスト代、昼食代、懇談会代（Aコースのみ）を含む。

### 13. その他

- (1) 終了後アンケート実施。
- (2) 自家用車の乗り入れは厳禁。

以上

#### 【会場地図】



会場：Nツアービル 8階会議室

住所：東京都千代田区外神田1-16-8

\* JR秋葉原駅電気街口より徒歩1分

**平成25年度JA都市農村交流基礎研修会Ⅱ**  
**～情報発信手法基礎研修会～**

日 程 表	
11:00	開会、挨拶・オリエンテーション等 ※10:30より受付開始
11:30～ 12:30	JA事例発表 ◇神奈川県・JAさがみ
12:30～ 13:15	昼食 (会場にて) ※お弁当を準備しています
13:15～ 14:15	情報発信に必要なスキルについてⅠ ◇有効的な情報発信の手法として、ホームページやメールマガジン等の 活用法や実践事例の紹介など ◇講師：日本農業新聞
14:15～ 14:30	(休憩)
14:30～ 15:30	情報発信に必要なスキルについてⅡ ◇マスコミへの有効なアプローチの仕方 (ニュースリリースの作り方・出し方、取材依頼のコツなど) ◇講師：毎日新聞社
15:30～ 15:45	(休憩)
15:45～ 17:15	情報発信に必要なスキルについてⅢ ◇都市農村交流におけるIT活用の可能性・展望 ◇情報発信機能を有したWEBシステムの活用実務 ◇講師：百戦錬磨(食と農の交流サイト・システム運営会社)
17:15 ～17:30	まとめ・アンケート・挨拶・閉会
17:45 ～19:00	懇談会(意見情報交換)

※研修内容については、一部変更になる場合もあります。ご了承ください。

**【本件に関するお問い合わせ】**  
 JA都市農村交流全国協議会事務局  
 (JA全中 食農・くらしの対策課 担当：石井、香取)  
 TEL：03-6665-6244/FAX：03-3217-5073  
 E-mail：[kurashi.s@zenchu-ja.or.jp](mailto:kurashi.s@zenchu-ja.or.jp)

## 【講師紹介】

### J A 事例発表

#### 【講師】

さがみ農業協同組合 広報課

課長 青木 訓徳 氏 (あおき・のりお)

1987年 茅ヶ崎市農協に入組

1995年 合併により J A さがみ生活部旅行センターへ

2003年 総務部教育広報課へ異動

2005年 組織改変により組織経済部広報課へ

一般旅行業取扱主任者 PRプランナー補 O型おとめ座

### 情報発信に必要なスキルについて I

#### 【講師】

株式会社 日本農業新聞 事業開発部

岩波 浩太 氏 (いわなみ・こうた)

北海道大学農学部卒業後、金融系システムエンジニア、Webの編集記者・ディレクター、地域経済・IT誌の編集記者を経て、平成18年 (株)日本農業新聞入社。

入社後、広報局事業開発部 eメディアグループに配属。全国の J A ホームページの構築、運営・支援に携わり、インターネットを活用した J A の情報発信力強化に取り組んでいる。

また現在、(社)日本ペンクラブに所属し、企画事業委員 兼 広報委員として、同クラブの情報発信力強化にも取り組んでいる。

## 情報発信に必要なスキルについてⅡ

### 【講師】

株式会社 毎日新聞社 編集編成局 生活報道部

部長 小野 博宣 氏 (おの・ひろのぶ)

昭和60年(85年)毎日新聞社入社、浦和支局配属。日航機墜落事故、連続少女誘拐殺人事件などを取材

平成2年(90年)東京社会部。警視庁(殺人事件)担当、後に遊軍。トリカブト殺人事件、オウム真理教事件などを取材し、遊軍時代には小児がん取材班の立ち上げにかかわる。

平成12年(00年)東京都庁記者クラブキャップ。1期目の石原都政を担当

以後、横浜支局次長、東京地方部、社会部デスク、宇都宮支局長、ビジネスソリューション本部委員、企画編集室長などを経て

平成25年(13年)4月より現職

## 情報発信に必要なスキルについてⅢ

### 【講師】

株式会社 百戦錬磨

代表取締役 上山 康博 氏 (かみやま・やすひろ)

2007年9月～2012年3月 楽天トラベル(株)執行役員として、新規サービスの立ち上げに従事し、ITを活用した数々の先進事業を開発。

2012年6月 株百戦錬磨を設立。同社代表取締役社長に就任し、スポーツ・旅行需要の創造、交流人口の拡大へ向けた新たな事業の創造に取り組んでいる。

平成25年度JA都市農村交流基礎研修会Ⅱ

情報発信手法基礎研修会 受講申込書

平成 年 月 日

一般社団法人 全国農協観光協会 殿

組織名： \_\_\_\_\_

代表者役職名： \_\_\_\_\_

代表者名： \_\_\_\_\_

1. (ふりかな) 氏 名 性 別・年 齢	男 ・ 女 ( ) 才
2. 所 属	部 課
3. 役職名	
4. 現在の担当業務	
5. 担当業務在職年数	( ) 年
6. 緊急連絡先 (現在の勤務地)	住 所： T E L： F A X： 携帯電話：
7. 研修費用 (要領 12 参照)	会 員 <input type="checkbox"/> 6,000 円 <input type="checkbox"/> 4,000 円 非会員 <input type="checkbox"/> 9,500 円 <input type="checkbox"/> 7,500 円
8. 備考	

注1：締め切り 9月11日(水)

注2：この申込書は、本研修会の事務局・講師・参加者等に配布する名簿の作成のみに使用します。

## 【参考資料】

この秋（10月）に、食と農の交流に関する催し・イベントなどの情報を掲載するWEBサイト「JOINTly GREEN」（ジョイントリー・グリーン）がオープンします。

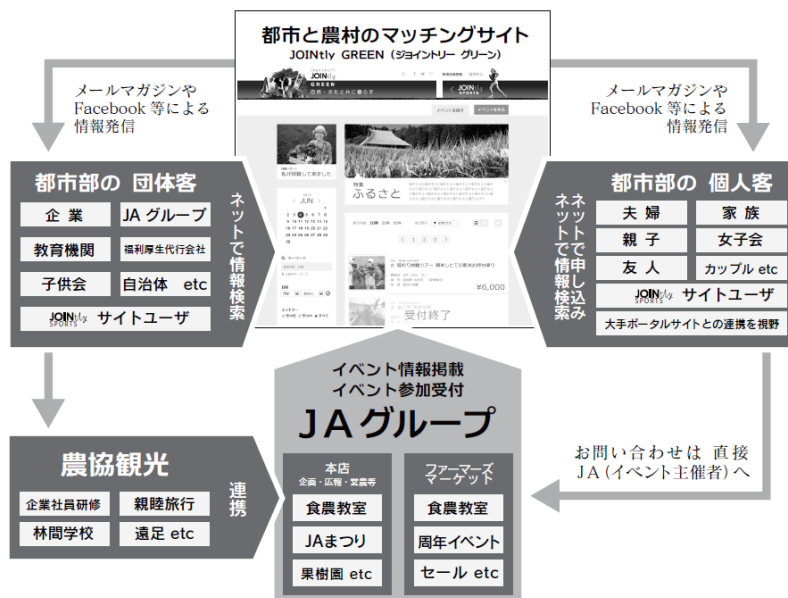
このサイトに多くの「交流」に関する情報を掲載し、新たなJAファンづくりの促進を図りたいと考えています。

JA都市農村交流全国協議会では、このサイトと連携をはかり、本協議会会員の皆さんへのサイト利用に関する会員特典なども設定し、サイト利用を支援して参ります。

つきましては、平成25年度開催の「JA都市農村交流全国協議会基礎研修会Ⅱ」において、サイトの利活用などについてもご案内をさせていただきますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。（非会員参加も可）

### 《サイト概念図》

## 食と農の交流サイトが、都市と農村を繋げる



## WEBの魅力

参加者（ユーザー）にとって

- ・24時間どこにいても情報入手・参加申込が可能に
- ・スマホに対応している為、家・移動中・旅先：様々なシーンに対応
- ・高度なメールマガジン機能により、精度の高い受動的な情報収集が可能に
- ・無料サイトなので安心して利用できる
- ※有料イベントへのWEB申込の場合は有料

JAにとって

- ・新聞・タウン誌等の広告、DM等と比べて廉価
- ・更に集客したい時、素早く手軽にイベントPRが可能（無料）
- ・Facebookなどの親和性が高い設計で、口コミでの情報拡散効果が期待できる
- ・紙媒体より情報（写真・文言等）の掲載量が多く、リアルタイムで修正が可能
- ・ユーザー同士の交流が可能を為、リピーター・固定客の定着率が高い
- ・イベント・イベントに対するアクセス数・顧客リター・参加者の推移など、様々な情報をオンライン上で管理・確認・多角的な分析が可能に